

日時 2015年10月3日(土) 13:00~17:00

会場 ベルサール九段 3階 Room 1&2

**入場
無料**

「生存科学と教育」研究会シンポジウム

生物進化 と 文化進化

—その普遍性と歴史性—



南太平洋ソシエテ諸島 (ダーウィンのビーグル号航路)

プログラム

- | | | |
|-------|-------|------------------------|
| 13:00 | 岡ノ谷一夫 | 鳥の歌に見られる生物進化と文化進化の相互作用 |
| 13:40 | 平田 聡 | 類人猿研究から見た社会性の進化 |
| 14:20 | 休 憩 | |
| 14:40 | 小泉 英明 | 進化保育学・進化教育学への期待 |
| 15:20 | 養老 孟司 | 進化の普遍性と歴史性 |
| 16:00 | 休 憩 | |
| 16:15 | 総合討論 | 司会 岡ノ谷一夫 |

お申込み

<http://seizon.umin.jp>

主催: **公益財団法人 生存科学研究所**
世話人: 「生存科学と教育」研究会 (代表: 小泉英明)
tel: 03-3563-3518 fax: 03-3567-3608
email: info@seizon.or.jp

開催にあたり

今回の生存科学研究所主催シンポジウムでは、生物進化と文化進化、そしてそれらの相互作用についての視座から人間の特異性を考えてみたいと思います。形態や機能についての生物進化と、社会性や言語についての文化進化がどう関連するのか？ さらに、淘汰や物理法則における普遍性と、浮動などの偶然性を持った歴史性がどう絡み合うのか？ それらがどのようにかかわりあって、私たちが、今、なぜ繁栄しているのか？ そして、人類の未来はどうなるのか？ これらのテーマについて議論させて戴きたいと思います。

講演者のご案内

岡ノ谷一夫 (おかのや かずお)

動物行動学者 東京大学総合文化研究科教授

小鳥の歌の進化と機構から、人間言語の起源についてのヒントを得る研究で知られている。また、近年では動物とヒトの比較研究から、言語と感情の起源を探っている。科学技術振興機構の大型プロジェクトの責任者も務めた。

平田 聡 (ひらた さとし)

京都大学 野生動物研究センター 教授

人間って何だろう？そして、「人間って何だろう」と思う心って何だろう？ そんな疑問に端を発して、ヒト以外の霊長類を比較認知科学的視点から研究する学問の道に。現在、熊本県宇城市の京都大学野生動物研究センター熊本サクチュアリの所長を務める。研究だけでなく、飼育下におかれた彼らの福祉を向上させる活動にも傾注。

小泉 英明 (こいずみ ひであき)

日立製作所フェロー

1990年代から「心と脳の科学」や「脳科学を基調とした教育」などの新たな trans-disciplinary 分野を提起し、道を拓いた研究者として著名。偏光ゼーマン原子吸光法の創出・実用化による環境計測をはじめ、f-MRI・光トポグラフィーによる脳機能計測技術を通じて脳科学から新・人間学など新しい学術分野の発展に寄与。

養老 孟司 (ようろう たけし)

解剖学者 東京大学名誉教授

1981～1995年の間、東京大学医学部教授（解剖学）。その後、北里大学教授も歴任した。解剖学の深い知見を基盤に、生命、そして人間を探求。その思考の過程と結果を多くの書籍として発表。昆虫、特にゾウムシの類をこよなく愛する。微視的な視座から巨視的な視座へと繋げて、自然界を広く俯瞰する思想家・哲学者でもある。

2003年出版の『バカの壁』（新潮社）は、その年のベストセラー第一位となった。

会場のご案内

交通

「九段下」駅「5番出口」徒歩5分（半蔵門線・新宿線）

「九段下」駅「7番出口」徒歩3分（東西線）

「神保町」駅「A2出口」徒歩6分

（半蔵門線・新宿線・三田線）

「飯田橋」駅「A5出口」徒歩7分

（JR線・有楽町線・南北線・東西線・大江戸線）

「水道橋」駅「西口」徒歩8分（JR線・三田線）



〒102-0074

東京都千代田区九段 1-8-10

住友不動産九段ビル 3階

TEL:03-3346-1396